

学校だより

太陽の子 1月号

令和7年1月21日

バンドン日本人学校

「第3学期始業式」

1月7日(火) 始業式の学校長式辞を掲載します。

昨日で冬休みが終わりました。冬休みの楽しい思い出はできましたか? この後、教室で友達や先生とそれらについてお話できるといいですね。

ところで、みなさんこれを見たことがありますか? また、これは何か知っていますか? これは「しめ縄」と言います。お正月を迎えるにあたり、玄関などに飾る日本の伝統的な風習です。この「しめ縄」には、新しい年を迎える節目に「神様を迎える準備が整った」と言う意味があるそうです。これは一つの例ですが、日本にはこのように多くの伝統的な行事や風習があります。同じように、インドネシアにも古くから伝わっていることがたくさんあります。今、バンドンで生活している皆さんはその両方を知るチャンスがあります。日本の子ども達には難しいその機会を持った皆さんだからこそ、二つの国の伝統を知り、その意味や良さを知ることも大切にしていきたいですね。



お正月と言えば、「一年の目標・頑張りたいこと」、「抱負」と言いますが、その年の始まりにこれらを立てることがあります。もうすでに考えている人、これから抱負を考える人、いろいろでしょうが、その時に3か月後の自分を想像してみて下さい。3か月後、新しい学年や校種、もしかするとBJSとは違う場かも知れません。その時の自分をイメージすることも大切です。そして、保護者の方も含めて、3か月後・あるいは1年後・3年後のなりたい自分の姿を描くことも重要だと思います。

いよいよ今日から3学期が始まります。なりたい自分のイメージに近づくための日々が始まります。学年の最後の学期は「まとめ・仕上げの学期」でもあり、「次のステップにつなげる学期」でもあります。冬休み前の終業式でお話しした「**自分自身を鍛える厳しさ**」も意識して心がけていくことを頑張ってくださいね。

3学期の終わりには大きな節目の日を迎えます。修了式で今の学年を終えます。卒園式では、ペンギン組の5名のお友達が幼稚園を旅立ちます。卒業式では、小学部6年生3名が小学校を旅立ち、中学部3年生2名がBJSを旅立ちます。

また、同じ日の離任式で、廣瀬孝平教頭先生、吉田隆明先生、藤川直子先生、櫻井美恵子先生がBJSを去られます。

このBJSにおいて、一緒に過ごすことのできる時間は限られています。

「旅立ち」はお祝いでもあり、「別れ」は寂しくもありますがだからこそ、子どもも大人も、この短い3学期の日々を大切にし、節目のその日を胸を張って迎えましょう。

インターンシップ 1/9~1/15

群馬大学4年生の光山さんが、インターンシップとして、BJSで一週間過ごしました。就業体験が目的で、実際に授業もされました。

また、休憩時間には校庭で子どもたちと一緒に遊んだり、談笑で盛り上がったりする場面も見られました。子どもたちと共にBJSでの濃厚な時間を共有されました。

4月から実際に教諭として教壇に立たれる予定です。お力を発揮して、活躍されることを祈念しています。



1/10 避難訓練【竜巻・火災発生】

今年度3回目の「避難訓練」を実施しました。今回は、竜巻が発生し、まず、竜巻が接近していると想定し、校舎1階セーフルームに一次避難しました。その後、給湯室火災発生の設定で、グランドに二次避難しました。

園児・児童・生徒はみな、真剣な表情で臨み、緊張感をもって訓練することができました。

なお、万が一に備えて、園舎・校舎共にペットボトル飲料水とクラッカーを相当数備蓄してあることをお知りおきください。

